

地盤調査 それは安心・安全  
住まいづくりの第一歩です

株式会社

アーステクト



At The Crossroad • 先端技術で地下を探る

## 会社概要

会社名	株式会社アーステクト
設立	1984(昭和59)年 9月27日
資本金	10,000,000円
代表取締役	山下 真一
従業員数	7名
有資格者	一級土木施工管理技士 1名 / 二級建築士 1名 地盤品質判定士 2名 (公益社団法人 地盤工学会) 表面波探査認定調査員 5名(NPO法人 住宅地盤診断センター)
業務登録	一般建設業 石川県知事 許可(般-29)第17627号 (土木工事業、ほ装工事業、とび・土工工事業) 住宅保証機構株式会社 地盤会社登録番号 21100023 (一社)ハウスワランティ 登録認定番号 C003136-6

業務内容	地盤調査：国交省告示 第1113号 第1項 ●表面波探査(レイリー波)試験 (物理探査) ●スウェーデン式サウンディング試験  地盤改良工事 設計、施工 ●表層地盤改良工事、柱状地盤改良工事、等  ●地盤保証 各種 (10年または20年保証)
------	--

取引銀行	北國銀行、北陸銀行、福井銀行
------	----------------



## 本社

〒920-0057 石川県金沢市桜田町2-116  
TEL 076-223-6610  
FAX 076-223-0366  
URL: <http://www.earth-tect.co.jp>  
Mail: [et@earth-tect.co.jp](mailto:et@earth-tect.co.jp)



(QRコードから図面等のメール送信可)



## 沿革

1982年 9月	創業 スウェーデン式サウンディング試験にて業務開始
1983年12月	表面波探査機 GR-810を導入
1984年 9月	北陸ビイック地下探査株式会社設立
1988年 3月	地中レーダー探査機導入
1991年 3月	表面波探査機 GR-830を導入
1993年11月	石川県金沢市桜田町(現在地)に事務所を移転
1997年 4月	社名変更 株式会社アーステクト
2002年 6月	表面波探査機 アースエクスプローラー(EXP-I型)を導入
2014年 6月	表面波探査機 GO-21を導入

※2019年度 業務実績 宅地地盤調査1,700件、地盤改良工事220件、地盤保証引受520件  
※表面波探査試験は国交省指定「住宅瑕疵担保責任保険法人」の調査方法として指定されています

## 住まいづくりの第一歩



土地と住宅は家族の暮らしを守る大切な財産です。  
アーステクトは安心の住まいづくり、地域の発展を地盤調査でサポートします。

## 地盤調査の目的とは・・・



- ①原位置の調査データから地盤の硬軟「地耐力」を調べます。  
建築物に不同沈下など有害な影響が出ないように、地盤の許容応力度(支持力)と沈下特性を確認。
- ②データベースから周辺地域の地盤情報ロケーションレポートを作成して広域的な情報をもとに地盤に関する地歴および災害に対するリスク評価を確認。

## アーステクトができること



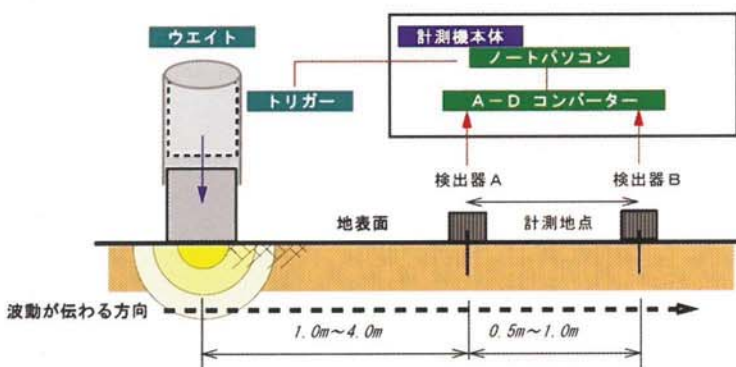
住宅の地盤調査をすると一般的に判定結果は「良い20%、グレーゾーン60%、悪い20%」になると言われています。そこで問題となるグレーゾーンを地盤調査専門会社として「いたずらに地盤を過小評価することなく」正當に、正確に、安全に判定します。「調査を依頼するとほとんど地盤改良が必要と判定される…」そんな悩みを解決するため表面波探査試験による調査で、慢性化している地盤の判定トラブルに鋭いメスを入れます。

### 表面波探査試験：探査原理

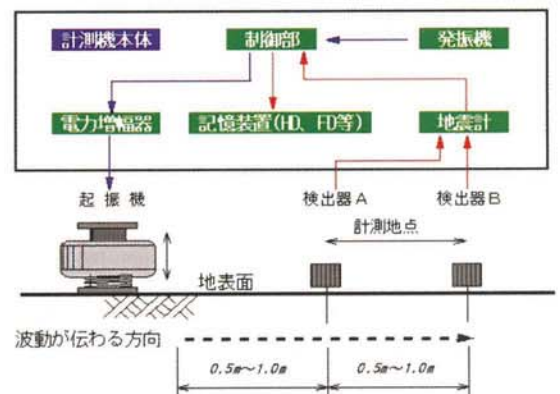


表面波探査法は、地震波の特性を活かした地盤調査方法です。起振機により地面を人工的に振動させ一定間隔の波の伝達速度を2つの検出器で抽出します。

振動(弾性波)は、硬い物ほど速く伝わるという性質があります。また表面波には地表より一定の厚さで伝わっていく性質がありその厚さは振動の周波数(波長)に依存します。異なる波長から深度ごとの表面波速度を計測・解析して長期許容応力度(支持力：KN/m<sup>2</sup>)を求め地盤強度を判定します。



※アースエクスプローラー-EXP-I型(垂直落下型)



※G O - 2 1型(上下起振型)

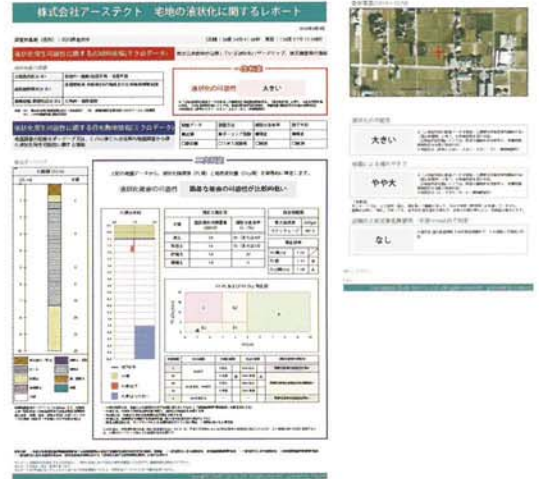
ご相談ください!!

## 地盤情報ロケーションレポート

やっぱり災害が心配。地盤リスクは大丈夫？

原位置での地盤調査前に「地盤リスク」を確認できます。地形地質概要、旧版地形図、地形断面図、土地条件図、航空写真などを分かりやすくレポート化。また液状化発生の可能性に関する広域的情報および近隣ボーリングデータからその可能性を簡易検討します。

地盤情報は、G-Space(\*1)データサービスを利用して集約したオリジナルレポートです。(運営会社との共同構築による)  
(\*1)G-Spaceはアサヒ地水探査株が運営するサービスです。



## 柱状改良工事が必要と言われたけれど…

本当にその地盤改良工事は必要なのでしょうか？

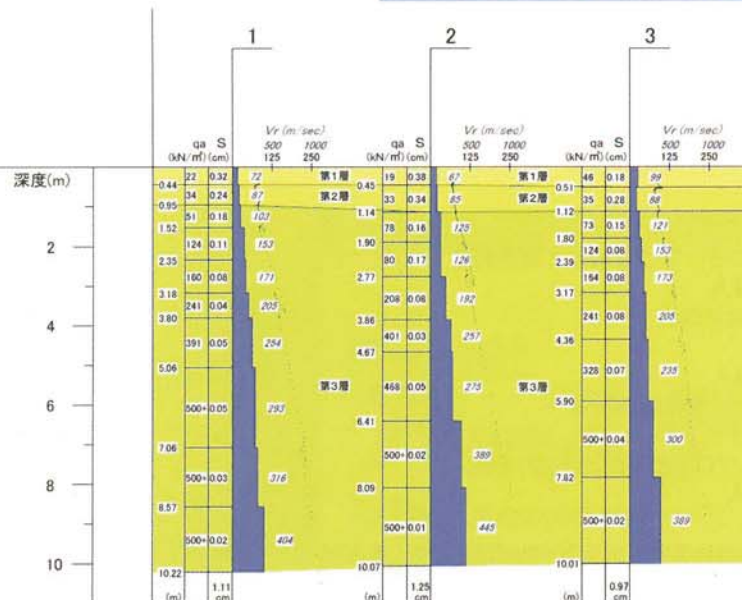
スウェーデン式サウンディング試験を実施した結果、「柱状地盤改良が必要」という判定が出てしまい、せっかくのお客様の建築計画がいきなり予算オーバー。そんな現場をアステクトにご相談ください!! 再調査すると盛土部分の表層地盤改良程度で十分な場合も多く、極端なケースでは直接ベタ基礎で対応可能な宅地もありました。

※簡易地盤考察はもちろん無料です。

とにかく現場の住宅地図をアステクトまでお送りください。過去の調査履歴や土地の地盤状況を考察して、地盤の概略をご報告します。



## 表面波探査試験：特徴



- 地盤の「地耐力」が分かります  
長期許容応力度(KN/m<sup>2</sup>)と沈下特性を確認
- 地盤に穴をあけない非破壊方式  
駐車場アスファルトの上から計測可能
- ガレキや礫層など不均質地盤でもデータ化  
(深度10mまで計測)
- 表層地盤改良工事後の品質確認検査が可能  
(一軸圧縮試験の代用として原位置で計測)
- 計測時間は一測点あたり10~15分程度

※鋼管杭・柱状地盤改良等の杭長設計には別途スウェーデン式サウンディング試験が必要になります。